



四面体 OABC において、 $\vec{OA} = \vec{a}, \vec{OB} = \vec{b}, \vec{OC} = \vec{c}$ とおき、辺 OA を 1:2 に内分する点を P、辺 AB を 2:1 に内分する点を Q、辺 BC を 1:2 に内分する点を R、辺 OC を 1:2 に内分する点を S とする。このとき、次の問いに答えよ。

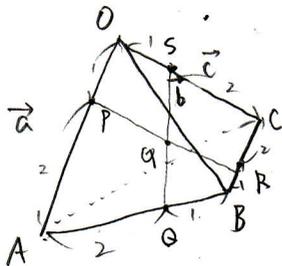
- (1) 図形 PQRS が平行四辺形であることを示せ。
- (2) 線分 PR と線分 QS との交点を G とする。このとき、 $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ を用いて \vec{OG} を表わせ。
- (3) 辺 AC を 1:1 に内分する点を T、辺 OB を 1:1 に内分する点を U、線分 TU を 2:1 に内分する点を V とする。 $\vec{a}, \vec{b}, \vec{c}$ を用いて \vec{OV} を表わし、点 G と点 V は一致することを示せ。四面体 PABC の体積がもとなるとき、P の座標を求めよ。

(1)

$\triangle APQ \sim \triangle AOB$ と $\triangle CSR \sim \triangle COB$ を用いる。 [岩手大]

$$\vec{PQ} = \frac{2}{3}\vec{b} \quad \vec{SR} = \frac{2}{3}\vec{b}$$

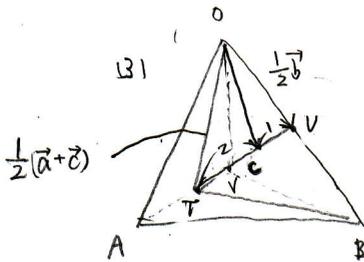
従って 1組の向かい合う辺が等しくて平行な4辺形 PQRS は平行四辺形である。



(2)

$$\begin{aligned} \vec{OG} &= \vec{OP} + \frac{1}{2}(\vec{PQ} + \vec{QR}) \\ &= \frac{1}{3}\vec{a} + \frac{1}{2}\left(\frac{2}{3}\vec{b} + \frac{1}{3}\vec{c} - \frac{1}{3}\vec{a}\right) \\ &= \frac{1}{6}\vec{a} + \frac{1}{3}\vec{b} + \frac{1}{6}\vec{c} \end{aligned}$$

$$\underline{\vec{OG} = \frac{1}{6}\vec{a} + \frac{1}{3}\vec{b} + \frac{1}{6}\vec{c}}$$



$$\begin{aligned} \vec{OV} &= \frac{2}{3}\vec{OT} + \frac{1}{3}\vec{OU} \\ &= \frac{2}{3} \cdot \frac{1}{2}(\vec{a} + \vec{c}) + \frac{1}{3} \cdot \frac{1}{2}(\vec{a} + \vec{b}) \\ &= \frac{1}{6}\vec{a} + \frac{1}{2}\vec{b} + \frac{1}{6}\vec{c} \end{aligned}$$

これは(2)と一致する。

